



「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動を
すすめて、みんなが幸せになることを目指します。



子育ての見守り

自治体から業務委託を受けて、1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩み事の相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。2024年4月からは新たに近江八幡市で「おむつおとどけ みまもり便」がスタートしました。
※甲賀市「こうか・おむつ便」/ 甲良町「見守りおむつお届け便」/ 東近江市「見守りおむつ宅配便」



近江八幡市「おむつおとどけ みまもり便」出発式 (2024/4/11)



お届けの様子

ご利用者の声 (アンケートより)

「月に一度定期的に見守りに来ていただくことで、直近の悩みや不安などを聞いていただくことができ、とてもありがたく感じています。」

自治ステーション

買い物が不自由な地域の支援や居場所の活性化にお役立ちするために、宅配の商品を受け取るステーション機能を活用して、その場所が地域の「集う場」のきっかけになるように地域の方々とともに開設を進めています。第3号は、米原学びあいステーションで開設されました。



自治ステーション代表者の声

ここは地域のための施設という役割があります。コープしがも地域のために運営されており、ともに目指している方向は一緒です。同じ目的を持った者どうし、もっと良い交流や癒しの場になればと思っています。

できるコトづくり制度の助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場 (できるコトづくり講座)」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成 (できるコトづくり助成)」からなっています。2023年度は「はじめて助成」9団体、「活動助成」8団体に助成を行いました。
※2022年度からの継続申請含む



「手話サロンPocky」によるイベント開催の様子

2023年度「はじめて助成」の助成団体「手話サロンPocky (旧 手話カフェ Pocky)」のみなさんは、聴導犬についての認知度向上や、手話の普及などを目的として活動されている団体です。サロンでは聴導犬ポッキーも活躍し、身体障害補助犬や手話について楽しく学べる場所となっています。

組合員どうしの助け合い「ささえあいサポート」

ささえあいサポートはくらしのこまりごとを組合員どうしで助け合う活動です。お手伝いするのは、組合員とその家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付やサポーター手配など、運営を担っています。

●2023年度ささえあいサポート利用件数：3,089件

ご利用者の声 (留守中の庭の水やりの依頼)

事前打ち合わせをしていただき、留守中のお花の水やりをお願いしました。帰ってきたら、植物が生き生きと大きく成長していました。

サポーターの声 (お家の掃除の依頼)

初めて一人でサポートしました。利用者さんに聞きながらの作業でした。ちょっとでも役に立てていたらいいなと思いました。



「沖島のやさしいアイス」店頭販売会の開催 (2023/9/13)

「沖島のやさしいアイス」は、「沖島子どもチャレンジ特産品開発事業」として6年前に誕生した商品で、沖島の子どもたちが企画し、東近江市の池田牧場が商品づくりを、コープしがが販売を担当しています。6周年の2023年度は、昨年に引き続きコープもりやま店にて沖島小学校の小学生による店頭販売会を実施しました。生徒の皆さんによる元気いっぱいの声かけや店内放送などの頑張りで、638個を販売しました。

●2023年度実績：6,380円寄付 (1点10円)



沖島小学校の生徒の皆さん



沖島のやさしいアイス

キッチンカー健康教室

食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です (無料)。

赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者サロンや老人クラブ、子育てサークルなどに伺い、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介しています。

●2023年度開催回数：95回



健康教室の様子



キッチンカー

子ども虐待防止「オレンジリボンキャンペーン」

滋賀県では、11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンを中心に、子どもを虐待から守るメッセージリボンである「オレンジリボン」により広報啓発を行い、児童虐待について考えるきっかけとしています。コープしがもこの趣旨に賛同し、職員や従業員がオレンジリボンを着用しています。

